

全身麻酔のもと、上肢の緊急手術 を受けられる患者さんへ

患者氏名 : 様

患者様用

受持医署名 :

受持看護師署名 :

月日(日時)	/	/	/	/
経過(病日等)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日
達成目標	安全に手術を受けることができる 絶飲食が守られている 麻酔についての理解が得られる	安全に麻酔から覚醒する バイタルサインが安定している 疼痛がコントロールできる ギプスによる循環障害を予防できる	疼痛がコントロールできる ギプスによる循環障害を予防できる 食事が摂取可能である	退院について理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	手術室で点滴を行います		状態がよければ点滴を抜去します 薬剤師から服薬指導があります 	
処置	身長、体重測定を行います 術衣に着替えます	全身状態の観察のため心電図モニター等をつけます	特に行いません	退院前にギプスのチェックをします
検査	外来で必要な検査を行います	手術後、手術室でレントゲン撮影を行います	ありません 	
活動 安静度	ベッド上で安静にさせていただきます。	三角巾で患肢を固定し、ベッド上で安静にさせていただきます	特に制限はありません 手指の運動は可能な限りしてください	
食事	手術があるので飲んだり食べたりできません	担当医の許可が下りれば、食事をとっていただきます(患者さんの状態によって多少の変化はありますが、短時間の手術で午前中に手術が終了された場合、軽い夕食をとることができます。午後の手術であれば、数時間経過して水分・プリン等を摂取可能となることが多いです。)	担当医の許可が下りれば食事開始となります	
清潔	爪切りをします 		清拭(体を拭くこと)を行います	ギプスを汚さないように気をつけてください
排泄	手術予定時間の30分前に排泄を済ませていただきます	ベッド上で行います	特に制限はありません	
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	入院後の経過についての概略を担当看護師から説明があります 	手術後に担当医から説明があります 	原則リハビリテーションは行いません。必要な場合のみ、状況をみながらリハビリ室でリハビリテーションを行います。	退院前に、次回再診、退院後の注意等について退院療養計画書に沿って説明があります

大津赤十字病院 整形外科 2013年9月 改訂

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。